

# 小田原でもやるぞ！無防備地域宣言運動

十一月に予定 楽しくやるぞよ！ピースゾーン小田原 河辺邦夫

## ピースゾーン小田原を結成

昨年11月憲法学者の澤野義一氏を招いた講演会に参加した仲間  
で「小田原でも無防備地域宣言運動を是非やるぞ！」とピースゾーン小田原が結成されました。神奈川県小田原市では国民保護計画を作成中でパブリックコメントの集中を仲間呼びかけ、計画見直しを求める陳情書を議会に提出（不採択）。国民保護協議会も仲間と傍聴し「知らないところで戦争を前提とした訓練の計画なんておかしい。」「自衛隊と一緒に行動するのは国際条約上問題では。」などの声が仲間からも上がるようになりました。

## 小田原駅前で宣伝

2月4日にはピースカフェあしがらという平和市民団体主催で上原国立市長を招いた講演会が開催されましたが、無防備運動は住民の直接請求で非戦の街づくりを平時から行っていくこと。全国で広

げましょう。」との上原さんの熱い訴えが、私たちにとっても、仲間を増やして絶対に条例制定を実現しようという大きな転機となりました。会場で有志6名の連名でピースゾーン小田原への参加と無防備地域宣言にむけた取り組みをパンフレットにして呼びかけ、以降定期的な学習会や意見交換会を開催、条例の名称も「全国の運動と結びついている事を示す為に是非『無防備』の言葉を入れよう！」など話しあつてきました。5月6日のゴールデンウィークには始めて小田原駅前でサンシンとエイサーでにぎやかに宣伝行動を行っています。



マペットで無防備を訴え

## 盛況だった講演会

5月27日前田朗氏を招いた講演会は、ピースゾーン小田原として始めての大きな企画となりました。小田原のメンバーの特徴は子育て真最中の若いメンバーが多いこと。会場となったホールの後ろを仕切つて保育室が設けられ、小さな子供が走り回る中で講演会はスタート。受付記帳者だけで35名を越え、子供も含めると50名を越えるにぎやかな集まりとなりました。

基調提案として大学生のメンバーも加わったアクターがマペットをもつて登場。軍備増強で力による「安心保険」をセールスする鯨のシャーク君と無防備地域宣言による「安心平和保険」をセールスする沖繩のジュゴンくんをパンダ君が取り持つ構成で進行し、いかに無防備地域宣言による保険が安くて有効か参加者に訴えました。続いて前田氏より世界中には軍隊を持たない国が27カ国もあることを一つ一つ具体的に紹介。憲法

9条を消極的に守るのではなく積極的に活用する運動としての無防備地域宣言運動の意義が明快に語られました。

講演会終了後の交流会にも14名が参加。当日初めて参加した市内の大学の法学部を卒業したばかりの2名含む5名が新しくピースゾーン小田原に加入してくれました。

## 11月に取り組むぞ！

小田原市の有権者は約16万人。約3300筆の署名が必要で、11月3日から12月2日の期間で取り組もうと確認されてきています。「新しい、若い仲間をどんどん増やして楽しい運動にしていこう！」とピースゾーン小田原は元氣一杯です。

